

開催趣旨について

令和5年9月21日(木)

第1回資源管理方針に関する検討会
～マイワシ太平洋系群～

水産庁

現行の漁獲シナリオについて

- 令和2年(2020年)の資源評価結果をもとに、TAC管理開始10年後の令和13年(2031年)に、親魚量が目標管理基準値を50パーセント以上の確率で上回る漁獲シナリオとして、以下を設定。
 - 令和3年(2021年)から令和5年(2023年)までは、 $\beta = 1.2$
 - 令和6年(2024年)から令和13年(2031年)までは、 $\beta = 0.85$

<将来の漁獲量の平均値(万トン)>

β	2021	2022	2023	β	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
1.2	97.3	75.5	56.3	0.9	37.4	37.1	37.6	38.2	38.5	38.6	38.8	38.8	50%
				0.85	35.6	35.8	36.7	37.4	37.9	38.1	38.3	38.4	55%
				0.8	33.8	34.4	35.6	36.6	37.2	37.5	37.7	37.8	60%

資源評価の変更点(令和4年以降)

- 昨年度の資源評価において、以下を含む評価方法の一部変更が行われた。
 - ① 外国漁獲量も含める
 - ② 将来予測の設定の変更
 - ・ バックワードリサンプリング(最近の好調な加入を反映)
 - ・ 直近3年の魚体重を使用(最近の低体重を反映)
- 上記の一部変更に伴い、令和2年の資源評価結果と比べて、将来予測における平均漁獲量や目標管理基準値の達成確率が大きく変わった。
- なお、資源管理の目標等の数量について変更はない。

将来の平均漁獲量(万トン)

2031年に親魚量が目標管理基準値(118.7万トン)を上回る確率

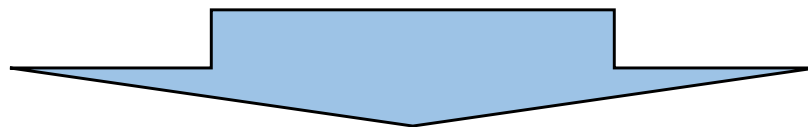
β	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
1.3	111.6	104.9	97.1	123.9	108.9	102.8	96.7	90.5	83.6	76.2	85%
1.2	111.6	104.9	91.0	119.3	106.6	101.4	95.8	89.9	83.3	75.8	93%
1.1	111.6	104.9	84.8	114.2	103.7	99.6	94.5	89.0	82.6	75.2	97%
1.0	111.6	104.9	78.3	108.4	100.2	97.1	92.7	87.7	81.6	74.3	99%
0.9	111.6	104.9	71.6	102.0	96.0	94.0	90.3	85.8	80.1	73.0	100%
0.85	111.6	104.9	68.2	98.5	93.6	92.1	88.8	84.6	79.1	72.1	100%
0.8	111.6	104.9	64.7	94.8	91.0	90.1	87.1	83.2	78.0	71.1	100%
0.7	111.6	104.9	57.6	86.8	84.9	85.1	83.0	79.7	75.1	68.6	100%
現状の漁獲圧	111.6	104.9	97.8	124.5	109.2	103	96.8	90.5	83.7	76.2	84%

漁獲シナリオの変更について

- 漁獲シナリオの等の見直しについて、資源管理基本方針において、以下のとおり規定。

直近の資源評価、最新の科学的知見、漁業の動向その他の事情を勘案して、資源管理基本方針についての検討を、**おおむね5年ごと**に行い、必要があると認めるときは、これを変更するものとする。

- 他方、**資源状況が大きく変化した場合など必要な場合には、5年以内であっても変更を検討することとしている。**



- 現行のシナリオは令和2年(2020年)に策定されており、**5年ごとの見直しは、令和7年(2025年)に予定。**
- 昨年の資源評価の変更等に伴い、現行の漁獲シナリオ策定時に議論のベースとなった**資源評価に大きな変更があったことから、今回、漁獲シナリオの変更を検討する。**